

## 携帯・スマホ等を活用した遭難者の位置特定に関する調査検討会

### 開催趣旨

近年、登山やスキーによる山岳での遭難事故が増加傾向にあり、特にスキー場のコース外等を滑走するバックカントリーにおいて、雪崩等による遭難事故が多く発生している。

このような遭難事故の発生時には遭難者を一刻も早く救助する必要があるが、特に雪崩等による冬期間の遭難事故の場合には、救助までの絶対時間が生存率に大きく関わることから、遭難者の早期の位置特定が大きな課題となっている。

これまで、遭難者の位置を特定するための有効な手段として、電波を活用した多くの検討が行われてきたが、遭難者が発信器等を持っていることが必要であり、その機器が高価なため普及には至っていない。

そこで、現在広く普及している携帯・スマホ等を活用することにより、雪崩等によって遭難者が雪の中に埋もれた状況においても早期に位置特定を可能とする捜索システムの実現が、スキー場、警察や消防等の捜索救助機関からも期待されている。

このようなことから、本調査検討会では、携帯・スマホ等が雪の中に埋もれた状況において、積雪等が GPS 衛星電波の受信及び携帯電話基地局との通信に及ぼす影響、必要な出力・エリアについて、技術的検証を交えた調査検討を行い、遭難者の早期の位置特定に向けた方策等を提言し、電波の有効利用の促進に資することを目的として開催するものである。